



## メモリアルドレミファコンサート

～輝け！！笠間の音色を響かせろ～

校長 中里 純子

11月21日（火）に、ドレミファコンサートが開催されました。子どもたちは、演奏したい曲を自分たちで選び、夏の暑い時期から一生懸命練習を積み重ねてきました。はじめのうちは、一つ一つの楽器の音がそれぞれに聞こえてきたものが、そのうち美しいメロディとなって溶け合い、リズムがピタッと合わさって、聴いていてとても気持ちよくなってきます。毎年のことながら、難しい曲をよくここまで仕上げるものだと感心します。

今年の「ドレミファコンサート」のスローガンのなかにある「メモリアル」という言葉には、「記念」とか「思い出に残る」という意味があるようです。子どもたちは、ドレミファコンサートの練習の中で、辛かったこと、頑張ったこと、嬉しかったこと、友達と助け合い励まし合ったこと、楽しかったこと、など色々なことがあったと思いますが、それらの全てが一人ひとりにとってよい経験であり、よい思い出です。特に、6年生は、これが最後の「ドレミファコンサート」になります。是非、忘れられない思い出として心に焼き付けて欲しいと思います。

当日ご来場くださった、来賓の皆様、保護者の皆様、ご多用の中ありがとうございました。また、この「ドレミファコンサート」を実施するにあたり、見守り隊の方々や栄警察署の方々には、子どもたちの交通安全を見守っていただきました。心より感謝申し上げます。そして、今年も、笠間小0Bや地域の方々による「笠間カンタービレ」「ときめき！！笠間ビックリファミリーバンド」もコンサートに加わってくださり、笠間小職員もコラボしてたいへん盛り上がりました。まさに「チーム笠間」で創りあげたコンサートでした。



### <人権週間>

毎年12月10日は、国連で「世界人権デー」と定めています。人権を守ることの大切さをうたいあげた「世界人権宣言」が成立したのが1948年12月10日であったからです。そしてわが国では、この日を含んだ12月4日から10日までの一週間を人権週間とし、いろいろな行事を行って、人権に対する意識を高めています。

本校でも12月4日から12月15日までを人権週間とし、人権についての学習を深めます。発達段階に応じて、子どもたちの自尊感情を育成し、子どもたちが自分の良さや友達の良さに気付くことができるような取り組みをしていきます。個別級では「5組のすてきを見つけよう」、1・2年生は「友達のいいところ見つけ」、3年生は「人権にかかわるいろいろなマークを見つけてみよう」、4・5・6年生は、視覚障がい者の方による人権講話、を予定しています。「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校をめざして、これからも全職員で人権教育に取り組んでまいります。